

事前評価調書

I 事業概要																																																										
事業名	治山事業（予防治山事業）																																																									
地区名	ちたぐんみなみちちちようおおあざとよはまあざごうだ 知多郡南知多町大字豊浜字郷田																																																									
事業箇所	ちたぐんみなみちちちようおおあざとよはまあざごうだ 地内 知多郡南知多町大字豊浜字郷田 地内																																																									
事業のあらまし	山腹斜面に不安定な岩盤、転石等が多くみられ、山地災害の危険性が高い。そのため、地元からの要望と荒廃状況を勘案して固定工（ロックボルト・ロープネット併用）を設置するものである。																																																									
事業目標	【達成（主要）目標】 固定工（ロックボルト・ロープネット併用）を設置し、山腹の保全を図る。																																																									
事業費	事業費			内訳																																																						
	290百万円			■工事費 267百万円			■調査費 23百万円																																																			
事業期間	採択予定年度	2020年度	着工予定年度	2021年度	完成予定年度	2029年度																																																				
事業内容	固定工（ロックボルト・ロープネット併用）4,500㎡																																																									
II 評価																																																										
①事業の必要性	1) 必要性	当該山腹には、転石等が多く存在している。直下には、活断層があり地震発生時には、災害時緊急輸送道路や避難所を守るため、治山事業の実施が必要である。 費用便益分析マニュアルに基づき算定したB/Cは2.79で1.0を越えており、効果が期待できる。																																																								
	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。																																																							
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事（固定工）</td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（百万円）</td> <td colspan="5">159</td> <td colspan="4">131</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>												2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計	工種 区分	調査・設計	←→										工事（固定工）		←→									事業費（百万円）		159					131				290
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計																																														
	工種 区分	調査・設計	←→																																																							
		工事（固定工）		←→																																																						
事業費（百万円）		159					131				290																																															
2) 地元の合意形成	地元住民からの要望であり、地元住民の合意が得られている。																																																									
判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。 【理由】 事業計画に無理がなく、地元合意もあるため、事業の実効性が期待できる。																																																								
III 対応方針																																																										
事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。																																																									
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																										

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

対象の山腹の落石の状況から事業効果を評価する。